

ヒル

杉山心

おいてきた、あの庭は、

血だまりたちの、白亜の丘で、

(きこえない？　こんなにも、雷鳴。)

息閉じて、田螺を追つて。

やさしい言葉が散らばる道を、

わたしがかすれてゆきました。

ねえ、水曜日。凍ったパンをきりおとし、

林檎をつけて食べるのは、

はぐれたわたしの因習です。